

浦和12大会ぶり天皇杯優勝



宇賀神 決勝ゴール

天皇杯を掲げて喜ぶ柏木(中央)ら浦和イレブン=9日、埼玉スタジアム(内山洋人撮影)

▽決勝(埼玉ス)

浦和 1-0 仙台

▽得点者【浦】宇賀神

サッカーの第98回天皇杯全日本選手権は9日、埼玉スタジアムで決勝が行われ、浦和が仙台を1-0で下して12大会ぶり7度目(前身の三菱重工時代を含む)の栄冠を獲得。来季のアジア・チャンピオンズリーグ(ACL)出場を決めた。

浦和は前半13分、右CKで柏木がショートコーナーを選択し、長沢の右クロスを相手がクリア。跳ね返りに反応した宇賀神がダイレクトで右足を振り抜き、ペナルティエリア手前から豪快なボレーシュートを突き刺して先制点を奪った。

早い時間帯にリードした浦和は前線から激しくプレスを掛け、後方からボールをつなぐ仙台的攻撃を寸断。耐える時間が長くなった後半も球際の攻防で相手を圧倒し、最後まで集中力を切らさず守り抜いた。

浦和は来年3月6日、ACL1次リーグG組の第1戦でブリーラム(タイ)と対戦する。

(伊部侑甫)
(詳細は11日紙面)

埼玉新聞購読のお申し込みは0120-633-888